

## 助産塾第3回実施報告

安産に導く助産師の技術を学ぶ  
～助産師として、どこで、どう働くか～  
講師：助産院マミータ 田中みちえ先生

H25年11月30日（土）に表題の研修会を開催しました。

先生の新人助産師の頃から助産院開院に至るまでの幾多の経験や、そこから感じたこと・影響を受けたこと、今大切にしていること等についてお話があった後、3グループに分かれて「助産師とは」「助産師としてどう働くか」的なテーマについて自由討論しました。

「自由」というからには、本当に自由に、ざっくばらんに、自己紹介・日頃の悩み・今取り組んでいること・危惧すること・仲間に伝えたいことなどなど、自由に出し合い、発表しました。同じ助産師という職業ながら、年代や職場・立場を越えて、同じテーブルでコミュニケーションを取り合える機会はないのかもしれない、このつながりを大事にしたい、とふと感じた場面でした。

休憩を挟んで、助産院マミータでの出産場面のDVDを見せて頂きながら、先生の現在の精力的な活動と、今後取り組んでいきたいと考えておられること、悲しい経験から教えられたこと、などについてお話を頂きました。各々が助産師としてどう母子の力になれるのか、優しく、且つ確実に投げかけを受けました。各々の立場に持ち帰って、答えを出して行かなければなりません。

グンと気温が下がり、雨もそぼ降る中で、確かに足元は寒くもじもじしていましたが、先生の穏やかで、ほあんとしたお話に、心は「ほあん」と温かくなりました。

アンケートより

経験が大切だと改めて感じた。どんな事でも次につながる。今を大事にしたい。益々助産師という仕事を好きになった。自分の能力の範囲を少しずつ増やし、地域への活動を増やして行きたい。等々意見を頂き、参加者のほとんどの方が受講の目的や動機を達成したと答えて頂きました。



次年度も研修会を企画いたします。研修会については決まり次第 HP 等でお知らせします。ご期待下さい。